

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373000989
事業所名	介護支援センターつばさ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価 ○
	和菓子作り等のホーム行事はチラシを近隣にポスティングし、多くの近隣住民が来訪している。 健康相談ブースを設置して地域貢献にも努め、地域の行事や清掃活動に積極的に参加する等、双方向の交流がある。	
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価 ○
	地域包括支援センター職員や地域代表の参加を得て、運営推進会議を年間6回開催し、ホームの様子を報告し地域の情報を得ている。 地域防災の取り組みの説明を受けたりAED講習会の提案があったりと、有意義な会議となっている。	
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価 ○
	地域包括支援センターと連携して開催する認知症サポーター養成講座は3回目を迎え、年1回の開催が定着してきた。 運営推進会議にも職員が毎回参加し、参加者はホームの現状を理解して良好な関係を築いている。	
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価 ○
	家族の来訪は頻回であり、その都度意見の聞き取りを行っている。 クリスマス会や鍋パーティー、運動会、外出行事と家族が参加する機会は多く、家族からも様々な協力を得ている。	
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価 ○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○			